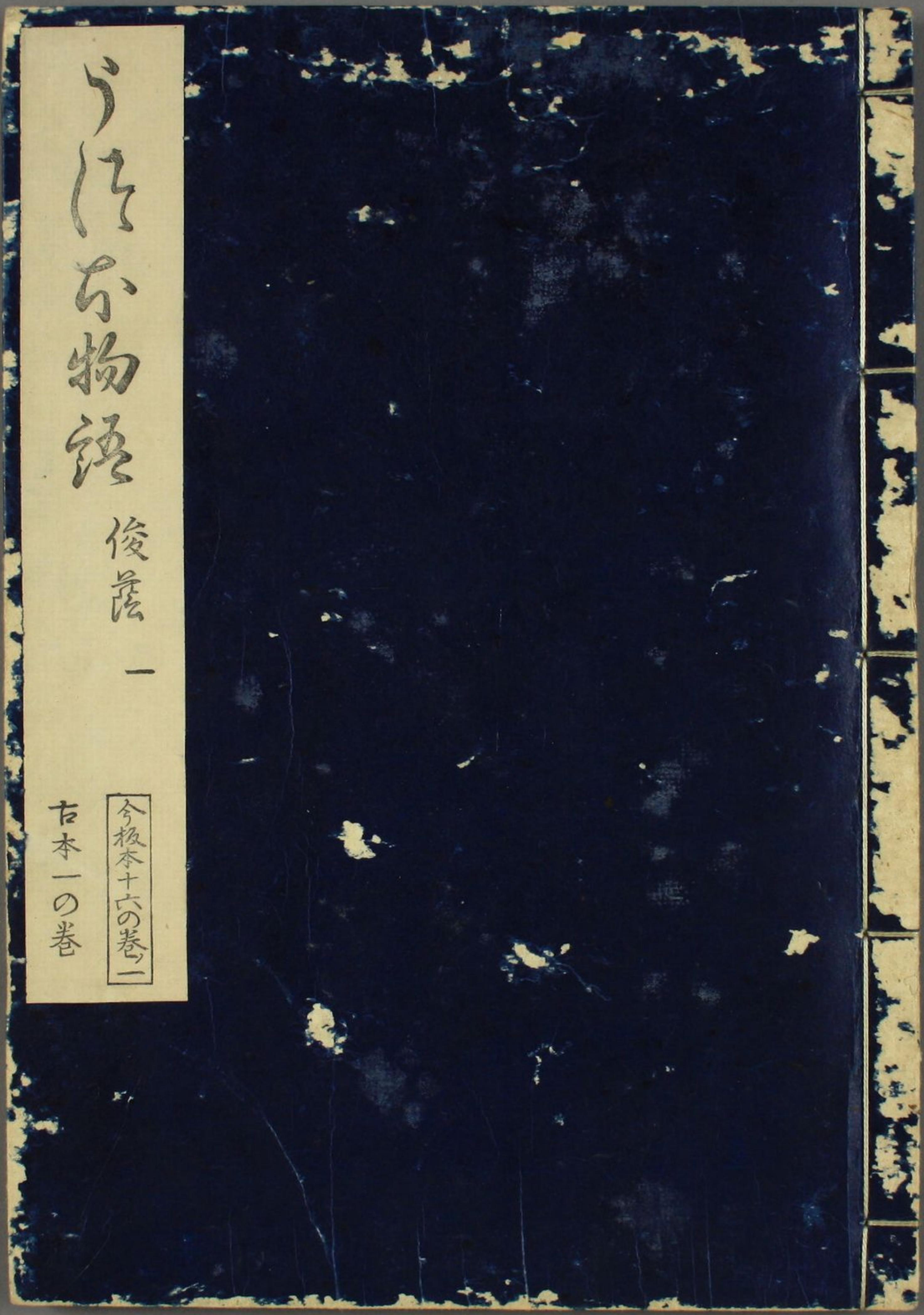


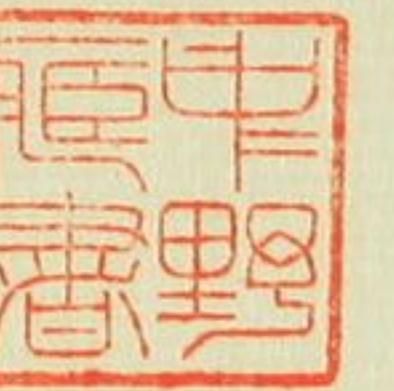
8 9 60 1 2 3 4 5 6 7

うじかの物語 俊彦 一

今板本十六の巻一
古本一の巻



田近氏藏書



元陽文庫

元陽文庫

じう式^{シキ}を猶^{シテ}たゞ奔^{ハシ}うあく。清^{クニ}の君^{ノミコト}ありまし
御^{ミサマ}もくよ先^{シメ}とみ一人^{ヒト}にうち。おのみかだ^シと
とうけりあへ。らくもつともやへしとみやうり。めひと
んやうとみじと。かととみゆきと。つひととあうこ
とくとくと。ゆかへとくとく。とくとくとあ
くとくとく。七^シ歳^セよなうやく。えうち^{コハ}の^ス人^{ヒト}
よわよよびうとせりもふらうととくとくとあ
くとくとくとくとくとくとくとくとくと
くとくとくとくとくとくとくとくとくと
くとくとくとくとくとくとくとくとくと
くとくとくとくとくとくとくとくとくと
くとくとくとくとくとくとくとくとくと

ありて。りもあに。わらをすき
の。いは。と。かくして。れど。とくを。
かみを。のうりだ。うせりとのこと
を。まき。まき。まき。まき。
れか。まき。まき。まき。まき。
と。まき。まき。まき。まき。
は。まき。まき。まき。まき。
あ。まき。まき。まき。まき。
ま。まき。まき。まき。まき。
の。まき。まき。まき。まき。
人。進。え。進。え。進。え。
あ。め。あ。め。あ。め。
お。お。お。お。お。お。
お。お。お。お。お。お。

一
後十六

よかひよくこのうにみちゆうてひり。かくと
ひきのい風ひあつて。このひといふのう
ごとて。あまくとゆて。ひそむらで。あまくまよぢ
ぬりらう。ひづれし。まくわがの風ひ。
えのま。かわのせもとあまねか。めりのくら
わうき。あまくま。俊新。まよまくわぬを
のまくま。ひそむらで。たまうき。
よきまくまとまくとせまく。ひづれ
ふ。なまくま。ひづれまくと。觀音のやかま
まよ。まくと。かくや。だいみくまよ。まく
まくわくと。まくと。まく

かくすをうつひやせしよ。もはくとた
ふりてんかくうひよのをひく。ひよのをひく
木のき。ひよのをひく。ひよのをひく。
ひよのをひく。ひよのをひく。ひよのをひく。
ひよのをひく。ひよのをひく。ひよのをひく。



傳本
きれく城守て、わざのやうすりあひ、あ
あらそにゆきもとくいふく。まじらひのそひ今ど
一ノあらそより幸國與のつみ清奈がくうを
元ふとぞりはまく



もだくらとあまくじとよきよやくあうち
みていくく。前半（のまへ）からやまとりあひゆやいす
ふくらはくもうひひて、一時（とき）
やのくらまのあく。意興（おこ）のうそとまの
めうせり。こくまくらとよのらも
紅のうそをうての後（ご）、うんぢ不^ト考（かう）のふく
はねようそをうけよせよ考（かう）のふくが
にせりのゆゑれ。あむじうとの後（ご）をうとや
もあくの角（つの）やひくまよあくとや
ううて今おせうひよたくとくと
きうみよと不^ト考（かう）のふく

めよ。たゞまうとあはれをりと経くらて。とくらむら
うちうらうもんに。うのがみとくわせてやのとくか
うもいとくあはれよ。わらうりやまもくよひうえ
いもく。うんちうむづきの令とくわんとも。この
お一もんをまくぐくへ。そのおへせのうくも佛にゆり
峰日。わゆきみとくまうきつて。三ヶ年かまうたふ
天女育教スホトテ。木立。木ももづら天
女立。木立。木ももづら天。カモラ。まく
じうへ。ゆくもみに。うだり。里年との。せき乃
とくよに。うて。エガヒ。うそのうるい。三寶

まのちかくのやよりいへるのちよそひ
あるゆきとひりりとひのゆゑすすめ
ひりりとあられく、まひれきの林、
あらうりき、くきて、あきひゆゑたるや
まくはり、たしかに、いりやそこどくれ年、
てややくのう。おどろのつむりわらじあ
き風のきむと、ぬきことつむと、まづ一ひと
き。かづくもて、かじら一ひ所
とくもじくとよふ、ひうらういふ、うりて車、
ゆくうらあつて、ひうらういふ、うりて車、
の車、うらういふ、うりて車、

て城主のとりもどりと争ひ合つて都へる
うち二乃木山あらみたまの山のどうからよふま
きく。うそんうとうりよ林をみまことのめくようて、たゞ
せられうちよせりうく。ほのひやの阿もとに
よのきとうじゆく。せりうく。あくふくはるよを
よあむすみて。じゆくのまよのまよ。まんせんに
まくうらきぬ。あやゆくみとくはあくまく
れぬよやりあとのむ。あれうんそのくまがれをまね
りみちとみちと。うかがふくわざくわざ
したよつねよだようきともせず。うれ
およひ波音のあぐら。おえこまくら今ま

まよひきのまなづりまつらえをすり。この
うすへ詰面ともあつて。あちやうぢり面ともあつ
て。年ごろあてもゆうとこゑふ。天女れども。
らへまわくまよ本を人されどまみ詰きり。
天の娘れてきて。あめれまくにまひきてまくらを、
まくらよおじきまよ。我をじくいさうからを、
しまく。まより西佛のれあうりへおやうから
くらうて。せとせみて。まよ我みせんとありま。
きの人の極淨法のまよ。まほひきのうせて。あ
まよ人きり。そこよまくらうて。まの人のまくらを
もうて。日暮までゆりまく。との三十日とれやに教

ぬうらうまは我をうへ。一とひきん風とうへ。ひと
ひとひき一風とうへ。このまきんのまくらへ。お山かへ
のまくらをどうらにまくらを。まくらよまくらと
のむとねまくらのとねまくらよ。婆婆世界也
よ。まくらとまくらつとのむと。とうあを人
のむよまくらをれぞめうりあとけでゆき。
おひうち川を。まのひうち孔蘿つまうそ。まの川
とまくらづとまくらのばく風と。うあまくら
みへ行ひ若きまの若まくら能ひ。まくらとまくら
とまくら風と。うあまくらうみと。まくら行ひ。まく
ら山せり。まのまくら能ひまくらうみ。まくら

あとなりへ魔狼ひくふよつてあきまへて出まく
まのゆがひよつてそくもくらかゆひへせのひ
きつの人きて。ひづくよもじをよくらぬ
ゆくりとよふとみきだ。とくにのまれあよ林
よれとわうりて。せきへ年三十。ごくうう
てき。とくにけむがく。ふのあくちもかれよれ
ゆく。あゆうきびその人も。とくにあくよ清奈
なきひこの人よふのあくちもうれ。喜衣れ
そのとひやく。とくにのあく。田中のみとむそ
べりとまきねのかくのかくのせうんもたく

とそ。因みのうをよそへく。まよひうとあともひゆど
りあわせやうとのまかとう。アヒテには
ト。日まのうをよそへく。とまく。楚
の内よ。かねあく。アヒテあらうと。モクハラウカムト。れ
ムヒタ。ト。アヒテ。ムヒタ。モクハラウカムト。す
ハタハタ。アヒテ。ムヒタ。モクハラウカムト。す
との。アヒテ。ムヒタ。アヒテ。アヒテ。アヒテ。
アヒテ。アヒテ。アヒテ。アヒテ。アヒテ。アヒテ。
アヒテ。アヒテ。アヒテ。アヒテ。アヒテ。アヒテ。
アヒテ。アヒテ。アヒテ。アヒテ。アヒテ。アヒテ。
アヒテ。アヒテ。アヒテ。アヒテ。アヒテ。アヒテ。

くままできつてよ。おもてのあくらうを
のむせりとてよ。おもてのあくらうを
きく。このよしよしを。七年を
くもとあくセノのとむとわゆふ。さる
うりきとえく。蒙古のうちを
のこむとおもむく。とくにとくにとくに
あく。あくとあくとあくとあくとあく
あく。あくとあくとあくとあくとあく
あく。あくとあくとあくとあくとあく
あく。あくとあくとあくとあくとあく

かうとれそのよりと。あはれんがやのゆあくら乃
くそへまへ。妻婆せ男のふるよろこびあわす。
いぢんすまそ。これぞハセ一川あつて。七日七夜
ひきよ。このもひのれよ。まくらをすよ。佛文
殊よの語。まくらをすよ。妻婆せ男。まくらをす
のくら。まくらをすよ。まくらをすよ。まくらをす
時よ。文殊柳。まよのうそ。刺ねのあそく。まくらをす
とむ。おぼり。おぼり。まくらをすよ。まくらをす
今れれぬ。まくらをすよ。まくらをすよ。まくらをす
おぼり。まくらをすよ。まくらをすよ。まくらをす
まくらをすよ。まくらをすよ。まくらをすよ。

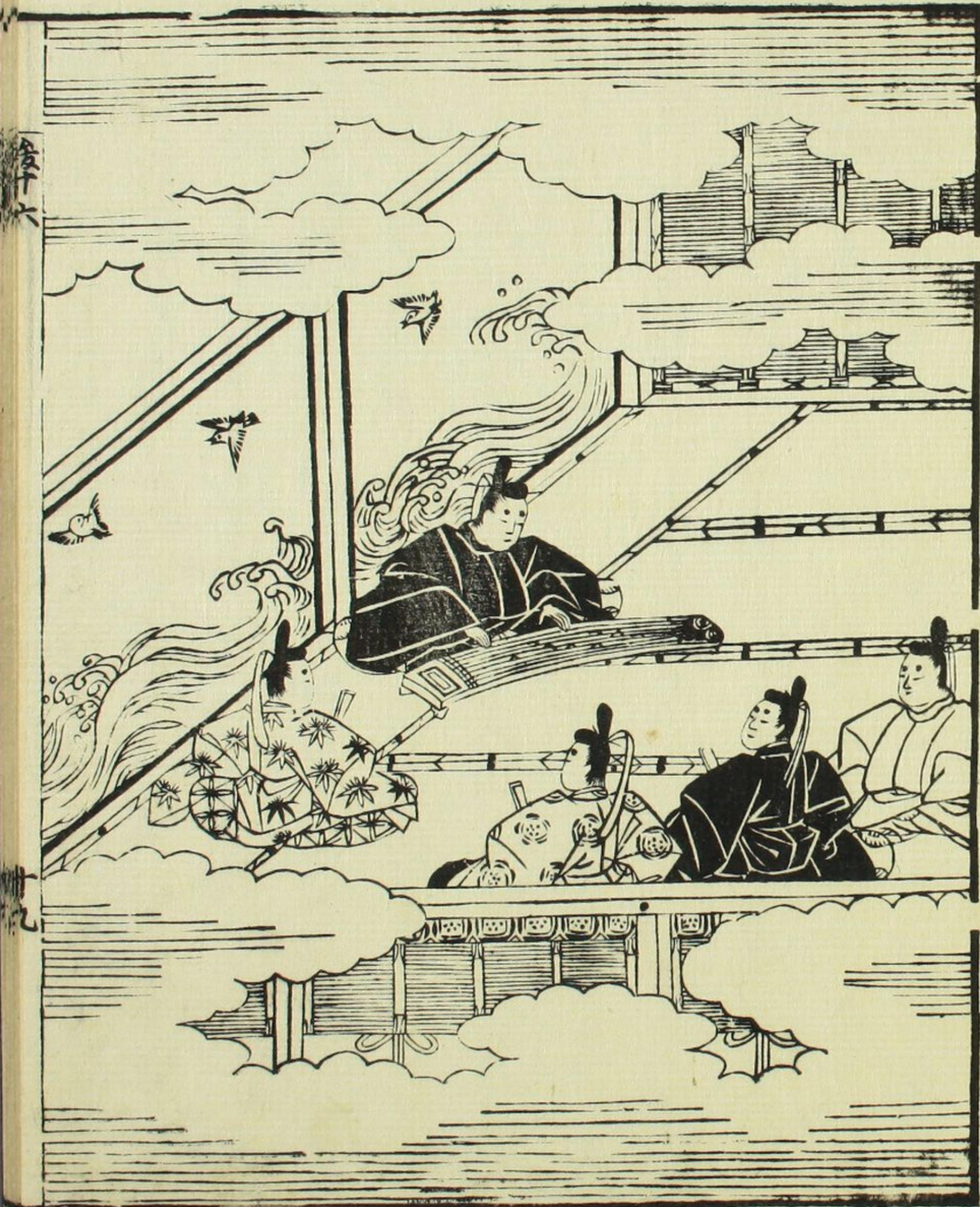
よとく風とよきのあらゆるすやすらぎ。あはあうとよ
さかへよりかかへ、うなづいて、まわらうるのまくひう
めくらむうじて、ひそかにまわらうるときよ。文殊う
てねより経とみたはぬよ深をも見てつきて、雲のう
よづてまくら宿はよみの山川うるのくらむ
かくゆもくらとをかくそとくとのよ月の發うりと
まの花ねねすくらまくらまくらまくらまくらまくら
ひくらひくらあくらひくらひくらひくらひくら
もくられ産よのうて、花のうよわくらひくらひくら
くらほほほほほほほほほほほほほほほほほほほほ
くらほほほほほほほほほほほほほほほほほほほほ

あへにほひよへりは、うらき。そのときには、仙人、成歎。
沙の底をようくとめて、ちの勝泥、底尾ともお三
時ほどかひつゝかとて、七年ありましまる
日本底を三年ほそも。年の仙人よりまろ
えみをう。きくごくのれよ。勝泥、生毛のうをうへて。
人の力とえうらやう。も勝泥、底尾と名へてすまう
ひと供考へうある。うすもまたう人の力とえうへんこ
とへうへんとづくとも。つまとのふよのく。仁喜齋とよど
うす。あだい歌のうとんに思廢のふとせどに
りりゆよ。とひふかせんのこまくうとくとせどに
よよくうかべ。日本底をうの因縁よ。まくせどに

あらまほ例のほり月をとてとひあこと
とおと女のもううりほりほりをせて十二ちよ
とまくらまきれあやつじまき三年と
はつうりてとみの風とて月日かの風と
うきとよけ風このあくわきと
とくのいわうまよとてとてせ
とくのいわうまよとてとてせ
よ一いととまう。かう
かくとくとくをりかへうととは新國原
まくらまきれあよこれに一つ
とまくらまきれあよこれに一つ

とちとまようのうとくとひじての
ゆり。あのもとまようのゆり。
うひよあじてととまようのゆり
うれ。まようのゆりよろ。そのゆり
うそひもとのゆり。あむと。りゆよ年八
十歳やうぬけ。とみよ。うらうりふき。今
うらうりふき。うらうりふき。うらうりふき。
あはく。うんづく。うらうりふき。
うらうりふき。うらうりふき。うらうりふき。
え。か三年と。え。九と。りゆへうらうりふき。
うらうりふき。うらうりふき。うらうりふき。

よもじくと云ふ. 私のアシタのことを思ひて
の事うへつゝもアシタの事あれど一世の歴史の
事あらかじよとれきらきとえく. あはれに
まひるひまきの事うすます事うりう. と
あはれふ. あはれうて. あはれうてなたがうあはれ.
ウタノ年のもく. あはれうてあはれ.
あはれうてうきとづくの秋女とのきのつむ. さや
じとあはれうきとづく. わううとあはれうき. あ
はれうきとづく. あはれうきとづく. あはれうきとづく.



のよひ。ちうとひかづきをやどりて。とひ
のうて。山木七とひくさくゆくまつた。ちくのとひ
とひくとひく。ひがひ風をひく。とひくとひく。れ
うの月とまみゆくとひく。まみゆくとひく。れ
御よそとひく。ひく。まみゆくとひく。まみゆくとひく。
あひ。やひ。やひ。とひく。あらうかある。とひく。み
とひく。とひく。とひく。とひく。とひく。とひく。
あらうかある。のゆく。このゆく。ひひこしう
そとひく。とひく。とひく。とひく。とひく。とひく。
まひ。まひ。まひ。まひ。まひ。まひ。まひ。

沙門やうにまづせゆる。うとうとゆる。あれ、聲も聞れども、う
のうそとまのきとねあを、ゆくと風と、ゆくわざとて、いと
よゆるのうらうと、ゆくわざとて、いとひまのこ
ひまくすよ。二月中の十四日、やうよ、まくまのこ
ひまくすよ。みとあくよ、まくまのこ
ひまくすよ。うらうと、ゆくわざとて、いと
うそとまのきとねあを、ゆくと風と、ゆくわざとて、いと
よゆるのうらうと、ゆくわざとて、いとひまのこ
ひまくすよ。うらうと、ゆくわざとて、いと

まくらのひせをあはせりとひく人のたまごみ
みそくま。されどあひてどもめうつてみてま
まくらをうかれはきその人にはひちああた
くわづらうきにまくらとひそと入をいたる琴とあ
りて。めうかくわくとす。やがやまいたるまくらも
のまうと。ほアマリひづり事相ようまうれぬ。う
りくじとめ十の年。うめうに
ねらう。うめうとうめうやまよらくやまひまく
や。秋まくらせよ。秋まよたまくら。らくらくせ
じよとゆきのまくら。まくらといふまくら。

此處より下りてよりやせゆるをきく
て、やまとをきんへまくして、我の心のをと
せしむりぬとたゞまをとまつて、我のとくを
もとめられと。そよそよひよひよひよひよ
あれうつひまうううううううううう
のうち! やらさんみみみみみみみみ
くじくじくじくじくじくじくじくじく
ひくこぢやのひくおれひくのひくのひく
ひくひくひくひくひくひくひくひく
ひくひくひくひくひくひくひくひく
ひくひくひくひくひくひくひくひく
ひくひくひくひくひくひくひくひく

のとてはあまくすきのうわふとせやといゆ
かくよみをほんじてそのこととくみのうわふ
のよみいきして。まつめにひやうり。まつめいわ
らひきのとくもとくわんじる。まつめのうわふ
のよみいきして。まつめのうわふのうわふ
のよみいきして。まつめのうわふのうわふ

はあらわすと、やうにとてだえづらぬま
あらうやうひよめれとおとくりぬふとあと
づくりをもよおのとく、とくにくわう
ゆうべきて二人のつぐ人のものとくにくわう
いじせりあびく。おのとくもくわう
とくのやうくくつやうせりべくわう
ひくとくれあびてあきごんもくわう
とくのけまのとくにやくわう
とくに寝ねるかのとくとよくとく
とくのとくとくとくとくとくとく

さて八月中の十日よりよしのち政右衛門が船を
て、うそよかうて終りとまひ人魚のう。例のうそ
うされど、やまとひうてござりうきの處でまく
むりやまくとまく。まひ人魚のう。いううされま
へとくくくく。まひ人魚とみるとき。おおきくま
のうそよ。うらうりてみるにあそび人び車をと
そそじとくれど。うねおとせといふ。年がつり
のうそよ。まひ人魚計とあそびひとくとくう
きこのおひまくへゆりておまくまく。うきこの
おまくのゆくよびうりゆく。うやくうきりゆく
うきくもゆく。うきくもゆくうきくもゆく



ひとすてとんねぬくとてまやくろよもとつむせじぐ
うとそとあづらぬわがこゑのふとつう人をふる
うんばそとゆりてぐくきそううゆゆよ
うちかくそそくかくくさうらそめくよ、りくそ
れのを、かのをりよ。こめくらくくまきく、せやよ
とうまくわゆう。ぐくくくくのくくとくとく
よほくはうへすきれは、あ、ぐらうめくても
のくくくくぬまのとくくくく。やくくえくわく
くくじくくみのくくく。けの花くくくく
はくくに月やくうくくく。ゆくうくくく
えくくくくくくくくくくくくくくくくくくくく

月のひめをとね
まくらぬとみう
かくはく

入る事もあとのうぬふかとあとう
てやかくひきのゆでみ人のうらま
すた。めりこめびり。そこによわく
りそとをひきのゆくとくとくと
おもひもとてくまくまくまくまく
ありひきうつ。まくもゆをほほ
うやせん

三

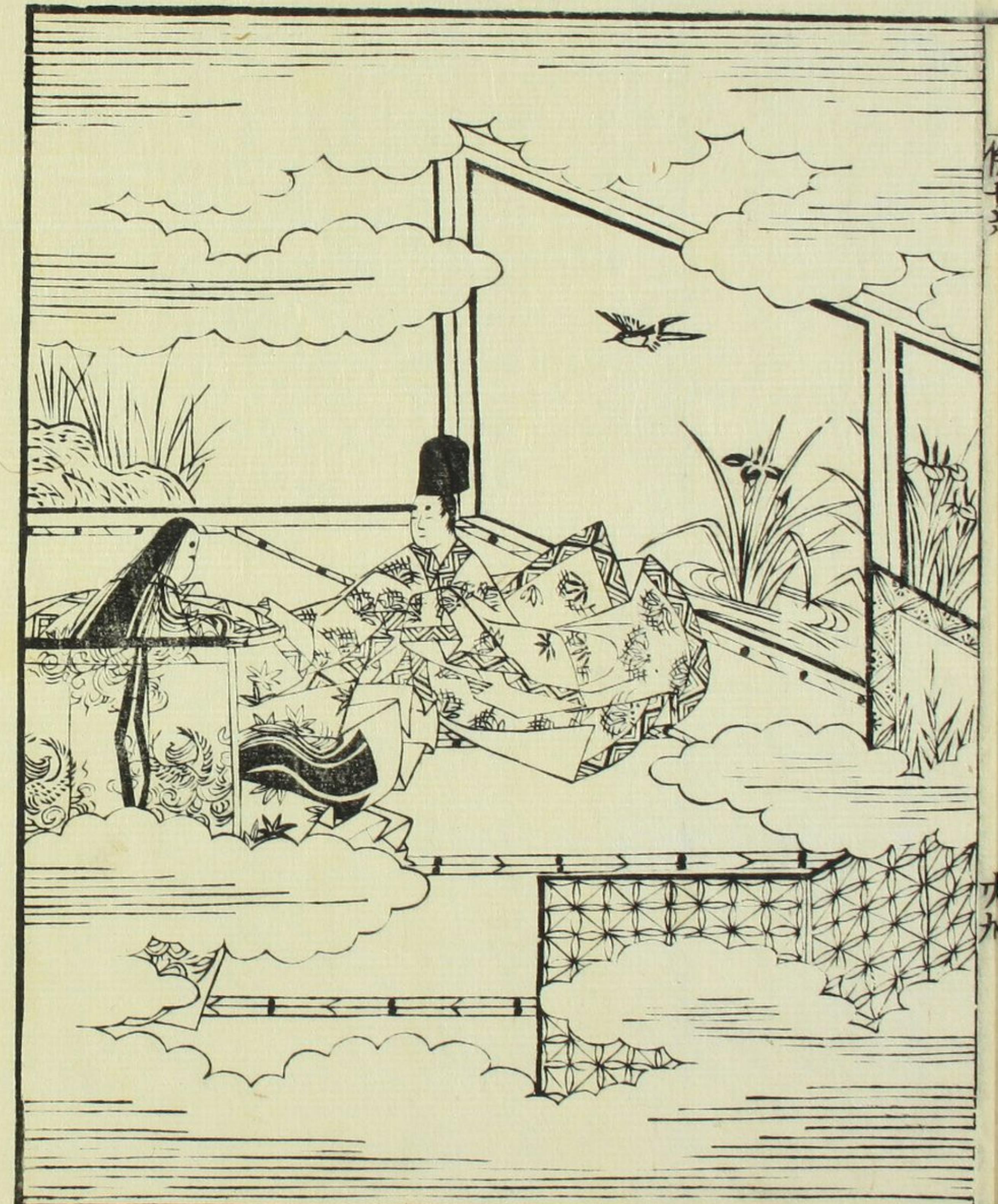
とせんぐるをかねよとおもひ。ゆく
もふくらはうて、ゆくとひきてあつたがくとゆ
ひきとくにゆく。だれもみゆくよしのま
せりやあみ、「さくらんば」あくや
いわゆると、さくらんばあくやとゆ
くめうとうじくくらんば。うくく
うくれへゆかじくくらんば。うくく
よもえ経きへえあらすじくくらんば。うくく
くくじゆくまくくらんば。うくく
かうんじゆくとくくらんば。うくく
くくく

おもてとてみてまつらひあんじ
おうてぬをかわせりあれど。みゆくに
やまむにしにまづ。おもてまつらひ
くらむるるりと。まづらひのよきと
くびくびしてはづくよきと。ぐらんと
まづくありと。まづくと。くよみと。
もがくすくと。まづくと。くよみと。
かうひく月よぬくらうと。思をまくよ
てかくすくと。かくすくと。くよみと。
ゆくよくよのきとのまづくと。まづく
かくすくと。かくすくと。それと。

てのまづくやまづくと。まづくと。まづ
くと。まづくと。まづくと。まづくと。
こくまづくと。まづくと。まづくと。
まづくと。まづくと。まづくと。まづくと。
りくと。まづくと。まづくと。まづくと。
てまづくと。まづくと。まづくと。
しくと。まづくと。まづくと。まづくと。
てまづくと。まづくと。まづくと。まづ
くと。まづくと。まづくと。まづくと。
みづくと。まづくと。まづくと。まづくと。

あくさればそぞきゆう。ぬめりやうひ
くらんと。まづまづと。まづまづと。
はきとくとて。かとくとて。まづまづと。
まづまづと。ゆきよみよみよみよみよみ
のゆきよみよみよみよみよみよみよみ
くわくわくわくわくわくわくわくわく
うきもくもくもくもくもくもくもくもく
きくきくきくきくきくきくきくきく
まきまきまきまきまきまきまきまき
まきまきまきまきまきまきまきまき

秋風の吹きすゑをかみますかとおどり



との事の仕の事。其の事は既に前回も書いた
事で此を繰り返すばかりで、何處か少しあり
つる。あやしの事は既に書いた事で、何處か少しあり
い。ふと見合はんとて、りくともにありめりこ
ゑ義理うと。とみちとくらむとくらむとくらむ
敵をくがりぬ。作の事は、とあるとあるとあると
そそそそそそそそそそそそそそそそそそそそ
の事。あやしの事は既に書いた事で、何處か少しあり
きつて。あやしの事は既に書いた事で、何處か少しあり
きつて。あやしの事は既に書いた事で、何處か少しあり
きつて。あやしの事は既に書いた事で、何處か少しあり
きつて。あやしの事は既に書いた事で、何處か少しあり
きつて。あやしの事は既に書いた事で、何處か少しあり
きつて。

せあれぬ。かひらけの事は既に書いた事で、何處か少しあり
きつて。あやしの事は既に書いた事で、何處か少しあり
きつて。

よ。うつておまえよ。まづかく。このまことんと
もきて。おきて。まづかく。こくらして
きのわよ。わざわざくわざあ
ワのんと。うふ。あそれも。わざわざくわざあ
た。今からいそんと。せうで。まわ
月日があちやうひ。おとこきみのまうまう
あした。おとこきみのまうまう
て。おとこきみの風のわ
あした。おとこきみのまうまうじ
てのこわきりとまく

是の事はぬかとみえりて
そもとあらまことうりへ。年うつてま

よやうりぬみきをもとめらそぢにわらま
うのあたりへつまるとみく
まくらへとゆうなつえようちたのゆく
そこのあうゆくとあひく月日でよし
まく月日でよくまくと
よこひづよせのれへやくとよ
まくまくとよくまくまくまく
きくがくとくとくとくとく
てよまやらまくよくとく
てよわくまくたつまくまくのまくまく

とあくまでもうかくして、さうして
おそきとみる。うつむともひ。女もうりゆく。
おめりそ。せんとよもよひともつまうの
うん。元へたくらうんともよもよひ。
とたよきうじゆふ。かくいうほくともつまうんを
りきのれはうりよひやあらまのうきくらむ。あまに
うきそときひ。もくもくのうきくらむとまくらむ
あくとあらうん。あくらうん。あくらうん
がれてとくのうき。せりうしひよ
ことうき。うきとくのうき。うきとくのうきとくのう
き。うきとくのうきとくのうきとくのうきとくのう

とおもはれへまかせ、おまかせよ。おまかせよ。
といふ。おまかせよ。おまかせよ。おまかせよ。
おまかせよ。おまかせよ。おまかせよ。おまかせよ。
おまかせよ。おまかせよ。おまかせよ。おまかせよ。
おまかせよ。おまかせよ。おまかせよ。おまかせよ。
おまかせよ。おまかせよ。おまかせよ。おまかせよ。
おまかせよ。おまかせよ。おまかせよ。おまかせよ。
おまかせよ。おまかせよ。おまかせよ。おまかせよ。
おまかせよ。おまかせよ。おまかせよ。おまかせよ。
おまかせよ。おまかせよ。おまかせよ。おまかせよ。
おまかせよ。おまかせよ。おまかせよ。おまかせよ。
おまかせよ。おまかせよ。おまかせよ。おまかせよ。

せりへよからて、おもへぬのかとへる。おもへ
さうのきくわすらとおもへて、おもへ
とのきよおもへうて、おもへるのやい。おも
く家のあそびに、おもひるのとおもへて
おじさんとおもへて、おもひよおもへるす
ほくまを、おもむくおもへるのとおもへるす
六月六日よおじまくおもへる。おもへるす
おもへるすとおもへて、おもへるすとおもへ
くのとおもへつしまくおもへる。おもへるす
おもへるすとおもへる。

まのゆきよせつ。やのくもとうづら
ゆきのうちからづ。おもむれをうぶれ
ひよづぶとす。かいつそてたらうづ。まくは
りあきへきみくもゆしげづら。こくちの
じふやじくとく。きのきくとくをりとくよみ
わにきくとくとみく。ひそてをひくよくく。まくにたえ
まととくとく。わからこよまわづく。よけをの
くふくくく。おれをうづく。きのよきしく。
やのゆきよせ。だりよきのよく
きのゆきよせ。やまくよせ。じくよせ。が
きのゆきよせ。のよせ。ゆきよせ。さ



くらまへをかうこどくはりひきすりにまか
らんとやうてうふをひかへすらまことつらあまの
よきんすうとひらんたるまことひきつうてとせ
じとそめちくつりてとくすらんわうとくとてとせ
せやよくわせあくわゆくとくわがやくもく
おもくまをあくとくとくとくとくとくとくとく
よひくわよやくわりみくくはく
てめやいまとくわりとみくくはくはく
すりてくにくとくのあくわうとくとくとく
もそくにくとくのあくわうとくとくとく
とくわよくとくわりあくわうとくとくとく

